

株式上場で何が変わるのか？

そもそも株式上場とは何か？

現在、JR九州では「**株式上場に向けて!**」と言われていろいろを耳にすることが多いですが、株式上場とは一体何なのでしょう？

株式会社というのは、会社を運営していくための資金を集めるために「株券」を発行し、銀行等の金融機関ではなく、一般の投資家（株主）から多額の経営資金を調達し、事業を行い、その利益を株主に分配するシステムを持つ会社のことを指します。

JR九州は株式会社ですが、鉄道運輸機構（国の機関）がすべての株を保有する**特殊法人会社**です。株式上場とは、現在運輸機構が保有している株式を、一般の投資家に開放することを言います。これによって一体何が変わるのでしょうか？

そんなに急ぐ必要があるのか？

現在、JR九州は発足以来、最高の利益を出し続けています（社員はその恩恵を受けてないので、あまり実感がありませんが…）

株式上場に向けて、**鉄道事業の黒字化**が必要であると会社は盛んに主張しており、様々な合理化（駅の無人化や委託化、客室乗務員の廃止、ワンマン運転の拡大等）をすすめています。

人件費の削減により経営基盤を強化しています。

国労は、あまりにも急速な合理化に対して、**安全面や地域との関わり、交通弱者の切り捨て**につながると考えています。

そもそも国鉄からJRへの移行時に、鉄道事業の赤字の補填のため、**経営安定基金3, 877億円**を国からもらい、その利子により鉄道事業の赤字を解消してきました。

株式上場に対しても、JR九州は経営安定基金を返還せず、株式上場していくと表明しています。上場による社員や利用者のメリット、地域経済への影響はどうなるのでしょうか？

もっと時間をかけて検討するべきだと考えます。

編集・香田

持ち株会に入ってくれと言われて入れたけど、何のために？



株式が上場したら私達社員を含め、九州全体、Happyになるの!?

NRU

若い力

第19号

2015年2月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515